

MCPC award 2022 ユーザ部門「モバイルテクノロジー賞」、サービス&ソリューション部門「優秀賞」受賞

2022年11月24日、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC：Mobile Computing Promotion Consortium）が主催する「MCPC award 2022」の表彰式が開催され、「ユーザ部門」表彰としてクロスステック開発部の竹野 和彦、中村 祐喜がNTTアンロードエナジー(株)とともに「無線基地局インフラを用いた広域節電制御の商用展開」にて「モバイルテクノロジー賞」を、「サービス&ソリューション部門」表彰として同部の赤塚 裕人、寺田 雅之が、NEXCO東日本とともに「AI渋滞予知」にて「優秀賞」をそれぞれ受賞しました。

MCPCでは2003年以降、「MCPC award」を開催し、モバイルシステムの導入により、IoT/AI分野での「業務効率化」「業績向上」「顧客満足度向上」「社会貢献の推進」「先進的なモバイル活用」などの成果を上げた事例を顕彰し、モバイルソリューション、IoT/AIシステムのさらなる普及促進を図っています。

「無線基地局インフラを用いた広域節電制御の商用展開」では、国内の電力不足などを解決するデマンドレスポンス（DR（Demand Response））への対応のため、基地局群から要請節電量を適切に満たすよう基地局を選択でき、かつ基地局に具備する蓄電池の充放電を遠隔制御できるEMS（Environmental Management System）基盤を開発し、システム連携にて節電量を取引可能にしました。本基盤においては、通信インフラでの再生エネルギーの活用や災害対応のためにこれまで培ってきたグリーン基地局や通信用蓄電池のノウハウ・実績を活用し、加えて新たにAI予測技術を導入してDR成功率・効率を向

上させることで、国内の電力ひっ迫時のDR要請に対しても速やかに対応可能としました。今後も、本EMS基盤やDR制御を通信インフラのみならず、地域自治体やEV（Electric Vehicle）へも展開し、通信インフラの安心安全と「2030年カーボンニュートラル宣言」の実現に寄与して参ります。

「AI渋滞予知」では、当日お昼時点までの人口分布に基づき、当日14時以降の30分ごとの交通需要や所要時間を予測し、ドライバーに配信することで、混雑時間帯を避けるなどの行動変容を促し、交通渋滞の緩和を促進することが可能です。NEXCO東日本と連携し、2017年に開始した東京湾アクアラインでの渋滞予測実証実験の成功をうけ、関越自動車道、京葉道路へと着実に適用先を広げてきました。今後も、導入範囲の拡大と交通分散効果の向上を図り、渋滞緩和による経済損失の削減と排出ガス削減による環境への貢献・社会課題の解決に努めて参ります。

文 献

NTTドコモ：“2030年カーボンニュートラル宣言.”

https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/ecology/enviromanagement/carbon_neutral/

ドラぶら（NEXCO東日本）：“高速道路AI渋滞予知（NEXCO東日本&NTTドコモ）.”

https://www.driveplaza.com/trip/area/kanto/traffic/ai_traffic_prediction.html

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。



第20回MCPC award 2022表彰式

